

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	大阪総合保育大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	オオサカソウゴウホイクダイガク
	大学等名2(連携大学等)	
	科目名	インターンシップ
	学部・研究科等名	児童保育学部
	担当教職員名・役職	東城大輔講師
	受講者数(H28年度実績)※インターンシップ参加者数	21
	受入企業等数	21
	受入企業等名	阿倍野保育園、湯里保育園、門真市立浜町保育園、大阪市立日東幼稚園、浜寺聖書幼稚園、寝屋川市立啓明幼稚園、さくらこども園、大阪府立難波支援学校、大阪府立東住吉支援学校、大阪府立枚方支援学校、大阪府立光陽支援学校、大阪府立住之江支援学校、大阪府立長居小学校、大阪府立南住吉小学校、大阪府立南田辺小学校、大阪府立茨田小学校、堺市立浜寺石津小学校、寝屋川市立明和小学校、茨木市立水尾小学校、松原市立河合小学校、名張市立錦生赤目小学校
	インターンシップの分類	1.長期(概ね1か月以上)インターンシップ、4.他県をまたぐ広域インターンシップ、5.低学年(大学1年次～2年次程度)からのインターンシップ、8.地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密着型のインターンシップ
上記以外のインターンシップの分類(記述欄)		
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事
	1-2.以外での就業体験の内容(記述欄)	
	1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	1.2年次ですでに保育所、幼稚園、こども園、小学校での実務に関してインターンシップとして体験しており(1.2年次は幼稚園教諭の資格必修)、3年次では当該校園で、実践的な活動を行っている。
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	7.当該インターンシップは、授業期間中に実施している
	2-2.以外で実施しているインターンシップの内容(記述欄)	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)	3年次～4年次
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)	0単位
2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	学生は1年を通じて週1回8時間を1.2年次で、幼稚園教諭の資格必修としてインターンシップを行っている。3年次以降の学生は自身の主体性に基づいてより高い就業意識と職業観や実践的能力の向上に努めている。	
要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法等を身に付ける授業等を行っている
	3-2-1.以外で実施している事前学習の内容(記述欄)	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている。3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている
	3-2-2.以外で実施している事後学習の内容(記述欄)	
	3-2-3.該当するモニタリング	1.インターンシップ中に、教職員が定期的に企業等に赴き、学生と面談を実施している
	3-2-3.以外で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	1年次～4年次に渡って繰り返し、全5回の事前学習の中でインターンシップの趣旨や目的の理解(第1回)、インターンシップの目標設定(第2回)、保育所、幼稚園、こども園、特別支援学校、小学校の特徴研究(第3、4回)インターンシップ中のマナー、守秘義務(第5回)等を実施している。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	就業体験と自らの学びがどのように繋がっていることや就職後の実践にどのように役立つかを振り返る目的で、インターンシップ後のグループワークや報告書を提出している。
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップ専属の教員が学生と面談を行い、報告書を基に学生の疑問に答えるとともに、目標達成に向けた指導を行っている。
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている
	4-2.以外で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	
	4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップ日誌(報告書)を用いて、学生のインターンシップ前後の変容を客観的に把握し、面談を通して学生の自己理解、研鑽を促している。同時にこれまでの学習の深化や今後の大学教育への動機付けに資するような指導を行っている。
要素	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	実施期間20日間以上
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	

⑤	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.以外の実施期間の内容(記述欄)	
	5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	当該の保育園、幼稚園、こども園、特別支援学校、小学校の開校日に合わせて年間20日以上行っている。
要素 ⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	3.企業担当者が学生に対して適切に関与し、目標達成に導くなど、大学として必要な支援を行っている
	6-2.以外で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	
	6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	事前にインターンシップの意義や目的を受け入れ校園にご理解いただいた上で、そのニーズに応えられるようにするため、その当該校園の経験者がプログラム設計の段階から参画している。また、当該校園に対して、年度中間で聞き取り調査をし、年度末にはアンケートを求めている。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	http://jonan.jp/potal/group.html
問 い 合 わ せ 先	大学等名	大阪総合保育大学
	担当部署名	キャリア支援部
	担当者役職名	
	担当者氏名	
	電話番号	06-6717-8039
	メールアドレス	d-tojo@jonan.ac.jp